

【第4回 芝不器男俳句新人賞 決定】 最終選考会・授賞式開催

芝不器男俳句新人賞実行委員会は、本賞の最終選考会および授賞式を本日(3月11日)産業技術大学院大学 [東京都品川区東大井1丁目10-40 品川シーサイドキャンパス] 2階中央ホール(講堂)で開催しました。

芝不器男俳句新人賞は、4年に一度、愛媛県松野町出身の俳人・芝不器男にちなみ、今世紀の俳句をリードする新たな感性が登場することを支援することを目的とし、新鮮な感覚を備え、大きな将来性を有する若い俳人に贈る賞です。

平成25年7月30日から作品の応募を受け付けておりました、第4回芝不器男俳句新人賞ですが、10月31日に締め切りを迎え、今回の第4回では、99作品の応募となりました。応募作品は、平成26年1月6日に行われた1次選考会で、氏名等応募者の属性を秘匿のまま応募作品(100句 / 一応募)を討議選考し、34作品の予選通過作品を決定しました。

本日の最終選考会・授賞式では、一次選考通過作品応募者の中から、新人賞1名、奨励賞5名を、公開選考の上で決定し、また全応募者の中から、特別賞1名を発表しました。受賞者には、賞状、賞金、副賞が贈呈されました。

各賞受賞者は以下のとおりです。

■「芝不器男俳句新人賞」受賞者:曾根毅

今回の選考は、東日本大震災以後という異常な時代を、若い作家たちがいかに俳句の形で引き受けるかが着目された。その中であって本作は《桐一葉ここにもマイクロシーベルト》のような説明的な作品にとどまらず、日常の中に刻印された亀裂を危機感を孕んだ句として作品全体にリアライズした点が評価された。《水吸うて水の上なる桜かな》《菊人形水を隔てているような》《般若とはふいに置かれし寒卵》。

伝統・前衛のはざまに深化をさぐっており、これが到達点ということではなく、力量を見込み今後への期待も込められる。

■「大石悦子奨励賞」受賞者:西村麒麟

俳人にとどまらず多くの先人の世界を句の中に抱懐し、飄々として達者。その人物を当人なりに昇華しており、深読みするほどに世界が広がる。《先頭が八田木枯鶴帰る》《俊寛に鯉が釣れてよき日かな》

プレスリリース

■「城戸朱理奨励賞」受賞者:表健太郎

教養主義ともいえる未知の言葉がちりばめられるが、その根底に震災への沈潜した思いがある。生きる悲しみを秘めながら、同時に強さ、マジカルな不思議さを併せ持つ。《生け捕れば彼の百図譜のぼらどくさ》《雷明かりもて緋くや鉾物史》《声のみの翁つどへり桃の花》《高つばめ素早く捕れば絵札なる》《古地図にまだ夜が明けぬ村がある》。

■「齋藤慎爾奨励賞」受賞者:庄田宏文

俳句史上、誕生から生育までこれだけ子供のことばかり詠んで成功させたものは空前。同じ題材が続くにもかかわらず、あの手この手で成功させ、喜怒哀楽を描きだしている。《臨月の妻に従ふ良夜かな》《抱く子も我が着ぶくれのひとつかな》《春眠を苦しと泣ける赤子かな》

■「対馬康子奨励賞」受賞者:高坂明良

震災の衝撃を前面にだし、激しさを持つ作品。直接地震津波を詠まずとも、不安感、日常の苛立ちとして内面化され、詩的に感情が込められている。《ニンゲンが錆びてゆくなり青時雨》《工事現場のノイズに合わせて痩せている》《まばたき、銀河が少し入った》。

■「坪内稔典奨励賞」受賞者:原田浩佑

普通の人考えない、妙なこと、突拍子もないこと、あるいは当たり前のことを五七五にされることで力を持つという俳句の骨法を踏まえたとおかしさが評価された。《親離れ子離れ高度を上げよ凧》《公園の椿に黙秘権はない》《向日葵の萎れる音を聴きにゆく》《耳搔きは銀河に最も近いもの》《ぺんぎんとかしかりのないあいだから》。

■「特別賞」受賞者:稲田進一

般若心経を読む思いで全作品から名句を諳んじるまでに読み込んだ西村参与の心中に凝結する形で浮上した。

【当資料に関するお問い合わせ先】

○芝不器男俳句新人賞実行委員会

内容については

シニアフェロー 関悦史

フェロー 佐藤文香

事務局

FAX 03-3636-4305 岩川富江

メール kawamata@fj9.so-net.ne.jp

プレスリリース

<最終選考会および授賞式内容>

1. **開催日:** 平成 26 年 3 月 11 日(火)
2. **場所:** 産業技術大学院大学 [東京都品川区東大井 1 丁目 10-40 品川シーサイドキャンパス] 2 階中央ホール (講堂)
3. **主催:** 芝不器男俳句新人賞実行委員会
 - 実行委員会委員** 石島辰太郎産業技術大学院大学学長 (実行委員長)
中山紘治郎愛媛銀行会長
大橋洋治 ANA ホールディングス株式会社 取締役会長
野村喜和夫 (詩人)
筑紫磐井 (俳人)
横井理恵 (俳人)
 - 参与** 西村我尼吾 (俳人)
 - 選考委員** 大石悦子 (俳人)
城戸朱理 (詩人)
齋藤慎爾 (俳人)
対馬康子 (俳人)
坪内稔典 (俳人)
4. **後援:** 外務省、文化庁、(独法) 国際交流基金
(公財) 愛媛県文化振興財団、愛媛県松野町、芝不器男記念館